

食を大変革^{3rd}

FOOMA JAPAN 2025 出展案内

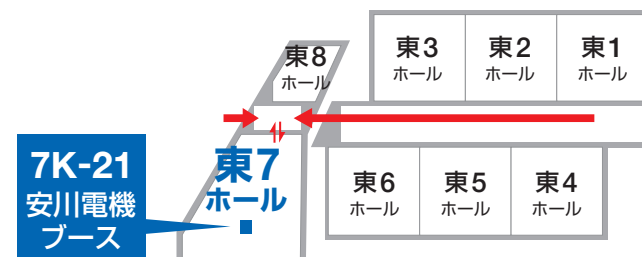
2025年6月10日(火)～13日(金)の4日間、東京ビッグサイトにて世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2025」が開催されます。

当社ブースでは、「食を大変革」をテーマに出展し、当社のソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」のもと、人手不足、食品の安全・安定供給、フードロス削減など食品製造現場の課題を解決する様々なソリューションをご提案いたします。

当社のみならず、安川グループのコア技術を結集し、サステナブルな社会の実現に貢献する取組みをご覧ください。

当社ブースへ是非お立ち寄りください。

会 期 2025年6月10日(火)～13日(金)
10:00～17:00
会 場 東京ビッグサイト 東1～8ホール
安川電機ブース小間番号：7K-21(東7ホール)
主 催 者 一般社団法人 日本食品機械工業会
U R L <https://www.foomajapan.jp/>
※来場には事前登録が必要です。
主催者サイトよりお申し込みください



出展コンセプト

安川グループが提供するシステムインテグレーションでサステナビリティを実現する「大変革」

新たな産業自動化革命の実現

i³-Mechatronics

アイキューブ メカトロニクス

安川グループの力を結集し、お客さまをサポート

株式会社 安川電機

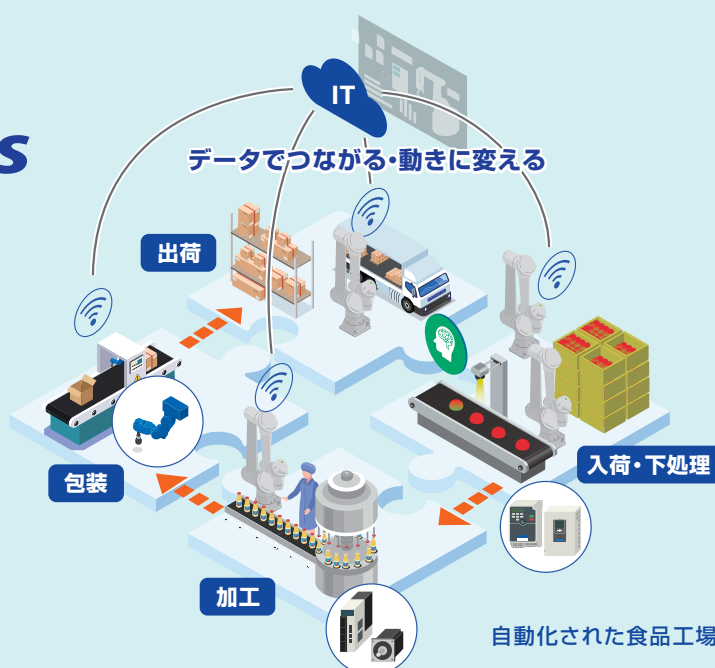
メカトロニクスを軸とした「工場の自動化・最適化」

株式会社 アイキューブデジタル

データ活用で工場自動化を支援する「デジタルシステムインテグレータ」

株式会社 FAMS

「農の工業化」「食の生産自動化」を推進する「システムインテグレータ」



主な出展製品・ソリューション

食を大変革する i³-Mechatronics

設備稼働情報を収集し製造効率化を支援する
設備監視システム
「Y's-SF Equip」



工場DXを始めるなら、生産計画の見直しから
生産スケジューラ
「Y's-SF Scheduler」



食品製造工程で安定稼働するロボットセル
食品仕様ロボット
「MOTOMAN-GP8」

- 耐洗浄性向上などサニタリー性を確保した食品仕様ロボットを活用し、ロボットセルが蓋閉め
- 全数を検査に加え、設備監視システム連携により設備総合効率を管理



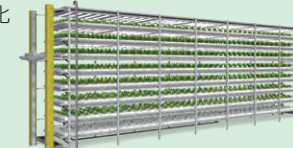
「未自動化領域」の自動化へ挑むロボット
自律ロボット
「MOTOMAN NEXT」

- 「判断力」と「作業力」を備えた自律ロボット
- 「ロボットに合わせる」常識を覆し、製造するモノや設備をロボットに合わせるのではなく、「ロボットがモノに対応」することを実現

食の安全と安定供給を実現するシステムパッケージ

コア技術を結集した完全人工光型植物工場システム
植物工場システム「アグリネ」

- 野菜1株を一つの栽培コマで管理し、播種から収穫まで自動化
- 栽培環境を最適に制御



豊富なラインアップ、進化を続けるパッケージ
人協働パレタイズシステム「CoboPal」

装置の高精度化、省エネに貢献するコンポーネント

進化を加速するモーション×デジタルデータソリューション
ACサーボドライブ Σ-Xシリーズ

i³-Mechatronicsを実現するコントローラ
YRM1010/MPX1310

カーボンニュートラルは省エネからはじめませんか？
安川インバータ&PMモータ



● お問い合わせ先：営業本部 食品営業部 TEL: 03-5402-4579